

国保税・国保一部負担金の減免制度について

濱元幸一郎 議員



濱元 平成20年度は国保の増税が行なわれた年。この増税が、税金を払いたくても払えない世帯を増加させた原因だ。滞納世帯は76世帯増の977世帯。資格証明書の発行件数も73世帯。国保税は前年の収入に基づいて計算されるので、今年失業等した人は収入が減少しても高い保険税が請求される。

本来、失業や病気で所得が減少した場合、税の負担軽減があるはずだ。

市の国保税減免の適用状況は、

市民部長 国保税条例の26条での申請状況は平成19年度3件、20年度2件。本市は廃業、失業などにより所得が著しく減少した世帯への減免措置は、現在実施していない。

濱元 県内14市中8市では、すでに所得の減少による減免措置を実施している。5市では規則も整備していない。



健康づくり推進課

合志市も所得の減少等で減免制度が適用できるようにすべき。市民生活が大変厳しい今だからこそ早急に整備する必要がある。

市長 担当部署で早急に検討させる。

濱元 雇用破壊、所得の低下で、税だけでなく窓口負担の支払いが困難な方も増加することが懸念される。一部負担金減免制度が市にもあるが利用は0。広報で周知して利用を呼びかける必要がある。また、市内病院にも文書等でお知らせして協力してもらうことが必要ではないか。医療機関にも別途文書等で周知したい。

福祉行政について

濱元 障害者の方や、そのご家族から、移動のときにタクシーを利用せざるを得ないときがあり、タクシー券を発行してほしい、また訪問入浴サービスの負担を軽減してほしいと要望があった。ぜひ実現してほしい。

健康福祉部長 現在のところ難しい。

長崎県雲仙市と江迎町で視察研修 7月27~28日



雲仙市議会での真剣な意見交換

雲仙市議会

「議会広報編集特別委員会」としては、4常任委員会より各2名の8名で構成され、任期は2年間で設置されました。

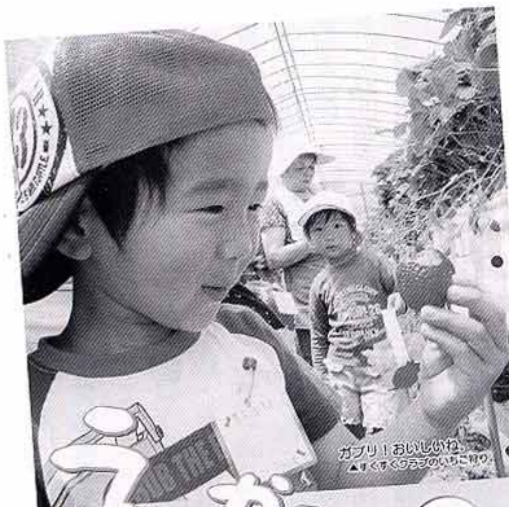
やすさを基本として市民の関心ある事等、内容をくわしく市民に公開されています。広報紙は、全ページでページ数は28ページあり紙面配置も6段組（合志市4段組）で読み易くなっています。

市民の関心度が高い開かれた議会として、主な議案の表決が賛否表として各議員毎に一覧表で賛成反対、欠席で表示掲載がされています。

裏表紙には、表紙の写真を「表紙のななし」として解説をしてある。次回の定例会の日程や議会傍聴の啓発がされており、市民の思いを考慮した紙面づくりに努力されていることが伺われました。



江迎町議会



本町の議会だよりは、平成20年度町議会広報全国コンクールで応募2回目にして「優秀賞」に輝いています。審査員による講評で表紙の写真も動きがあり、町民に今最も関心のある合併問題を大きく巻頭に取り上げ、これに関連する議案の質疑、討論、議決の結果（賛否数まで）を明記している事が評価されたと説明を受けました。

一般質問は一人1ページを当て、ここも6段組として写真と空白部分のバランスがよくとられ読みやすさを感じました。議員の一般質問の追跡調査「あの質問はどうなった」を設け、定期的にフォローをする体制がとられ掲載されています。

ます。議会だよりを町民に関心をもって読んでもらう為、住民と広報委員との懇談会を年一回開催し、その内容もくわしく掲載してあります。また、「まちの人」というコーナーで住民グループの活動紹介などを載せ「議会だより」をより多くの町民に関心を寄せてもらうよう努力していることを強く感じました。

職員の適正配置を！

松下 広美 議員



松下 国県から権限委譲された事務内容と、今後はどうなるのか。

総務企画部長 公共用地関係事務他6件が移譲された。今後は、パスポート申請交付事務、農地転用許可事務等が進められる。

松下 職員の1人あたりに対する人口及び類似団体の実態はどうか。

総務企画部長 本市と同じような市が全国で128ヶ所ある。職員1人あたり人口は189人で類似団体から4番目に少ない現状にある。

松下 病気、出産、育児等による長期休暇取得状況はどうか。

総務企画部長 過去3ヶ年における長期休暇取得者は48人です。

松下 職員の能力を高め、やる気を起こす市政運営について伺う。

市長 人事評価制度の導入を計画。

松下 国から自治体職員の定数のあり方について目標数値の改正が起きていると聞か、内容を尋ねる。

総務企画部長 他の団体との比較を簡素化し、人口、面積等をもとに分かりやすく示したものです。

職員数不足は明らか

松下 本市職員数は、国が示す数値と比較するとどうなっているのか。

総務企画部長 試算で473人となる。現状は363人であるから、国が示す数値より本市の職員数は110人少ない。

松下 合併後人口は2000人増加している。また、新規事業や国県からの権限委譲事務も増大している。しかし、職員は減員されており過重労働が強いられている。このことで病気が志気の低下を招く結果になりかねない。職場環境を良くするために適正な人員配置をする必要がある。

市長 全国に誇れる個性のある質の高い合志市を作り上げていくためにはそれ相応の体制はつくっていかねばならない。財政力を考慮した上で削減計画を十分検討したい。



高齢者支援課